

婚姻届

令和 7 年 5 月 26 日届出

在アイルランド日本国 大使 殿
総領事

受理 令和 年 月 日

第 号

公館印

右ページは記入不要

書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附票	住民票	通知
------	------	------	-----	----	-----	----

(1) 氏名	夫になる人	妻になる人
	ケニー ジョンマーク 氏 名 ケニー ジョンマーク	ガイム ハナコ 氏 名 外務 花子
生年月日	1998 年 12 月 7 日	平成 10 年 2 月 15 日
(2) 住所	アイルランド国ダブリン市4区ボールス ブリッジアリスベリー通り22番	同左
(3) 本籍	アイルランド国 番地番 筆頭者の氏名	神奈川県横浜市西区中央町 一丁目5 番地番 筆頭者の氏名 外務太郎
	父 ケニー、パトリックジョージ 母 ケニー、メアリールーシー 養父 養母	父 外務太郎 母 明美 養父 養母
(4) 婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍	<input type="checkbox"/> 夫の氏 <input type="checkbox"/> 妻の氏	新本籍(左の☑の氏の人すでに戸籍の筆頭者となっているときは書かないでください) 神奈川県横浜市西区中央町一丁目5 番地番
(5) 同居を始めたとき	令和6 年 12 月	(結婚式をあげたとき、または、同居を始め たときのうち早いほうを書いてください)
(6) 初婚・再婚の別	<input checked="" type="checkbox"/> 初婚 再婚 (☐死別 ☐離別 年 月 日)	<input checked="" type="checkbox"/> 初婚 再婚 (☐死別 ☐離別 年 月 日)
(7) 同居を始める前の夫婦のそれぞれの世帯のおもな仕事と	夫 <input type="checkbox"/> 妻 <input type="checkbox"/> 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯	
	夫 <input type="checkbox"/> 妻 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯	
(8) 夫婦の職業	夫 <input checked="" type="checkbox"/> 妻 <input type="checkbox"/> 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業員数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5)	
	夫 <input type="checkbox"/> 妻 <input type="checkbox"/> 4. 3にあてはまらない常用勤務者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5)	
	夫 <input type="checkbox"/> 妻 <input type="checkbox"/> 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯	
	夫 <input type="checkbox"/> 妻 <input type="checkbox"/> 6. 仕事をしている者のいない世帯	
	(国勢調査の年... 年...の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください)	
	夫の職業 会社員	妻の職業 自由業
その他	令和 7 年 5 月 1 日 アイルランド国 の方式により婚姻成立、 同国登録官 作成の 婚姻証書添付。	
届出人署名 (※押印は任意)	夫 印	妻 外務花子 印
事件簿番号		

証		人	
署 名 (※押印は任意) 生 年 月 日	印		
	年	月	日
住 所			年 月
本 籍			
		番地 番	番 番

記入の注意

1. 届書はすべて日本語で書いてください。
この届出は長年保存されますので、鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。
- 2. 「筆頭者の氏名」欄には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。
- 3. 日本と外国の二つの国籍をもっている人は、日本人として本籍欄を書いてください。
当事者の一方が外国人のときは、本籍欄に「国籍何国」とだけ書いてください。
- 4. 父母がいま婚姻しているときは、母の氏は書かないで、名だけ書いてください。
養父母についても同じように書いてください。
- 5. □には、あてはまるものに☑のようにしるしをつけてください。ただし、外国人と婚姻する場合にはつけなくてください。
外国人と婚姻する人が、まだ戸籍の筆頭者となっていない場合には、新しい戸籍がつくられますので、希望する
いてください。
- 6. 届を出す日に同居を始める人は、その日に同居したもとしてその年月を書いてください。
まだ同居を始めていない人は、その他の欄に「まだ同居を始めていない。」と書いてください。
- 7. 再婚のときは、直前の婚姻について書いてください。
内縁のものはふくまれません。
- 8. 夫 □、妻 □ に当てはまると思うものに夫 、妻 のようにしるしをつけてください。
- 9. 在留国の法律で婚姻したときは、婚姻した日から**3か月以内**に婚姻証明書をそえて出してください。この場合は
書かず、「その他」欄に婚姻成立年月日、婚姻の方式及び婚姻証書作成者の職名を記載してください。
外国文の証明書には翻訳者を明らかにした訳文を添付してください。
当事者の一方が外国人のときは、在留国の法律で婚姻してから出してください。この場合、外国人の国籍を証
(旅券写し等)を提出してください。
10. 未成年者が婚姻するときは、父母(養子のときは養親)の同意書を出すか、または父母がその他の欄に同意の旨
署名(※押印は任意)してください。
- 11. 届出人や証人の署名は、はっきりとよめるようにそれぞれ本人が書いてください。なお、外国人が外国語で署名
は、その「よみかた」をカタカナで併記してください。
12. 夫婦がともに日本人のときは、届書 3 通(新しい戸籍がつくられる場合に今までと別の市区町村につくりたいとき)
夫婦の一方が外国人のときは、届書 2 通(新しい戸籍がつくられる場合に今までとは別の市区町村につくりたい
通)出してください。
13. 届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管)にも用いられます。

印
目
地

さい。
本籍を書

証人欄は

する書面

を書いて

する場合

は4通)、
ときは3